

New surgical scoring system to predict postoperative mortality

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木下, 真帆 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032170

様式 (6)

学位審査

学位番号	乙第 2941 号	氏名	木下 真帆
審査委員会	主査教授	山崎 健二	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>我々は患者の術前術中状態を統合した、術後死亡率を予測するための新たな評価方法 SASA スコア ($SASA = sAs + (6 - ASA_PS) \times 2$) の作成を試み、その有用性を Surgical Apgar Score (sAs) およびアメリカ麻酔科学会全身状態分類 (ASA_PS) と比較検討した。東京女子医科大学病院において全身麻酔または区域麻酔により手術を受けた患者 32,555 名を対象とした。いずれのスコアリングも、重症度が上がるとともに術後 30 日死亡率は増悪した。sAs はスコアが 2 下がるたびにリスクは 3.65、ASA_PS ではスコアが 1 上がるごとリスクは 6.4 上昇した。sAs および ASA_PS いずれも高い予測力が示されたが ($AUC = sAs: 0.81, ASA_PS: 0.79, P < 0.001$)、SASA では両者をさらに上回る予測力が示された ($AUC = 0.87, P < 0.001$)。周術期の患者予後リスクを端的かつ包括的に予測できる指標を提示した有用性の高い研究論文である。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			